

プレスリリース [2022年7月7日]

(計2枚)

市立小学校でパラバドミントン体験会を実施します

町田市では、東京2020パラリンピックのパラバドミントンサポートシティ※として、障がい者スポーツの普及啓発・理解促進のため、2017年度から市立小学校でパラバドミントン体験会を実施しています。2021年度までの累計で45校、参加児童数は3203名にのぼります。

東京2020大会終了後も、同大会のレガシーとして体験会を継続して実施しており、2022年度は14校（参加児童数1176名）を予定しています。

この度、2022年度における取材可能な体験会についてご案内します。（新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、オンラインでの体験会に変更する可能性があります。）

※パラバドミントンサポートシティとは

「パラバドミントンの大会及び合宿の実施」、「パラバドミントンの普及及び選手発掘」、「パラバドミントンに関する情報共有及び情報発信」において日本パラバドミントン連盟と相互に連携することを目的に協定を締結した自治体を指します。

町田市の他に東京都渋谷区、江戸川区、静岡県静岡市、福岡県宗像市が協定を締結しています。

■ 日 時：

7月12日（火）午前11時15分～正午（予定）※4時間目

■ 会 場：

町田市立小山中央小学校 体育館（小山ヶ丘3丁目7-1）

■ 内 容：

ルール解説・競技用車いす体験・バドミントン体験・選手への質疑応答
（体験会の様子はYoutubeでご覧いただけます。）

町田市公式動画チャンネル 「パラバドミントン体験会動画」



■ 講 師 (※):

パラバドアンバサダー

島田 務 (車いす・WH1)

※日本パラバドミントン連盟から
派遣

▽クラス分け・カテゴリー

カテゴリー	クラス	障がい の程度	対象となる選手
車いす	WH1	重い	車いすを使用する下肢障 がい選手
	WH2	軽い	
立位	SL3	重い	立ってプレーすることが できる下肢障がいの選手
	SL4	軽い	
	SU5	-	切断や麻痺などの下肢障 がいの選手
	SH6	-	低身長 of 選手

■ 事業の背景:

町田市は日本パラバドミントン連盟と2019年度からパラバドミントンサポート
シティとして協定を締結しています。締結以前から大会や合宿の開催、体験会の
実施など協力を行ってきました。また、日本のみならずホストタウンでもあるイ
ンドネシアのパラバドミントンチームとも交流を持ち、東京2020パラリンピック
の際は事前合宿を受け入れるなど、パラバドミントンの普及啓発に力を入れてき
ました。

■ 取材申込:

7月11日(月)午後4時までに、以下の問い合わせ先へお申し込みください。
ご所属や連絡先などをお伝えください。受け付けの際に注意事項をご説明します。
なお、選手へのインタビューはお受けできませんのでご承知おきください。

■ 本件に関するお問い合わせ先:

文化スポーツ振興部スポーツ振興課 課長 高梨 TEL 042-724-4036